

# ジュゴン・シンポジウム

～日本で唯一のジュゴン保護区を設置するために～

1998年1月日本で初めてジュゴンが日本テレビの報道カメラに撮影されました。そこは沖縄の東海岸辺野古沖です。

その後東海岸では、一年中ジュゴンの目視や撮影がされており最近ではこの東海岸で、子育てをし繁殖していることがわかりました。一方で沖縄のジュゴンは50頭以下といわれ孤立した個体群と表現され危機的状況です。

世界中の保護団体からは北限である沖縄のジュゴン保護が求められ、IUCN(世界自然保護連合)の2000年の総会でジュゴン保護が採択されました。

そしてIUCN2004年の総会では、具体的にジュゴンの保護区を設定するよう採択されています。

そのような状況の中にあっても、私たち日本政府はジュゴン保護を先送りにし、ジュゴンの生息環境の悪化に拍車をかける行為を実施しようとしています。

これ以上、環境を悪化させることは日本から沖縄からジュゴンの生息環境を奪うことにつながります。それは、世界の人々から信頼を失うことにもつながります。

そこで今回タイでジュゴンの研究を続けているエレン・ハインズ先生を招き、現地調査及びシンポジウムを行います。

私たちは、ジュゴン保護を先送りするのではなく私たち(民間)で出来るジュゴン保護の自主ルールをつくり、参加者一同と共にジュゴン保護区の宣言をこのジュゴンの生息地名護市の東海岸から発信したいと思っています。

多数の参加を呼びかけます。

主催：ジュゴン保護基金委員会

協賛：沖縄環境ネットワーク・ジュゴンネットワーク沖縄・泡瀬干潟を守る連絡会  
琉球諸島を世界遺産にする会連絡会・北限のジュゴンを見守る会

後援：WWF ジャパン・日本自然保護協会

日時：2005年1月29日(土)午後6時から8時まで

場所：久志支所ホール(名護市瀬嵩)

講師：サンフランシスコ州立大学助教授 エレン・マリー・ハインズ

パネリスト：日本自然保護協会理事 吉田 正人

ジュゴン保護基金委員会 東恩納琢磨

【講師プロフィール】米国保全生物学会の海洋セクションの理事委員、タイのジュゴン研究と保護策提案、その他アジア諸国(ミャンマー、ベトナム、スリランカのジュゴン調査)、中米ベリーズでのマナティの調査